



ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ロシアNIS貿易会

2017年(平成29年)5月25日号 No.1727

目次

■ 2017年1～3月のロシア経済	1
■ 『ロシアNIS調査月報』2017年6月号のご紹介	9
■ エトセトラ	10
ラウンドテーブル「日本とロシア：日ロ経済協力の現状と今後の展開」/10	
第8回日本モンゴル官民合同協議会のご案内/10	
■ トピックス	10
ロシアとサウジアラビアが原油減産延長で合意/10	
ウリヤノフスクでいすゞの大型トラック生産開始/10	

2017年1～3月のロシア経済

はじめに

ロシア連邦国家統計局、および、同関税局などより2017年1～3月のロシアの主要経済指標、ならびに貿易データが発表されたので、本速報ではこれらデータを図表にまとめてご紹介する。

油価の上昇に伴い、ロシア経済にも回復の兆しが見えている。経済発展省は2017年のGDP成長率を2%と予測しており、欧州復興開発銀行や国際通貨基金をはじめとする他機関では1%～1.5%の予測が多い。景気後退からようやく脱却し、ゆるやかな経済成長を始めた今後は、油価の安定化による経済成長の加速が期待される。

主要経済指標

統計局発表の速報推計値によると、2017年1～3月のGDP成長率は前年同期比で0.5%の成長となった。エネルギー資源価格の上昇により、鉱工業や農業、とりわけ輸出が大きく増加したことが、主なプラス成長の要因である。

2017年1～3月のロシア鉱工業部門の生産指数では、鉱業は前年同期比で1.2%増加したのに対し、製造業は0.8%減少したものの、化学分野や乗用車、バスなどをはじめ、石油・ガス分野でもプラスの成長がみられた。

貿易高

2017年1～3月のロシアの商品輸出額は833億3,690万ドルで、前年同期比36.0%の増加となっ